

府内中小の事業承継支援

センター発足 幅広い相談に対応

中小企業の事業承継をサポートする京都府事業承継・引継ぎ支援センターが発足し、事業について話し合うメンバー(京都市下京区・京都商工会議所)



中小企業の事業承継をサポートする京都府事業承継・引継ぎ支援センターが1日、京都市下京区の京都商工会議所内に発足した。京都産業21が行ってきた親族内承継事業を、京商内の府事業引継ぎ支援センターに統合。新型コロナウイルス感染症の影響で休廃業が増える中、後継者問題についてワンストップで相談に応じる。

産業競争力強化法の改正に伴い、発展的に組織を改変。幅広く相談に応じられるよう、支援体制を強化した。メンバーは税理士や

中小企業診断士、金融機関OBをはじめとする12人。親族内や第三者、従業員への事業承継や、承継のネックとなっている経営者保証の解除、企業の合併・買収(M&A)のマッチングなどに取り組み。

この日はセンターの成岡秀夫統括責任者が事業概要をメンバーに説明。「機動力を生かし府北部の案件も増やしたい。中小企業の経営者が『どうしよう』と思ったら相談できる存在でありたい」と話した。同センター075(353)7120。(今口規子)